

知っておきたい

女性のための健診エチケット

健診を受ける際には、健診機関からあらかじめ注意事項が伝えられることが多いですが、一般的な注意点をご紹介します。せっかく受ける健診です。正しい結果が出るよう、注意事項を守るようにしましょう。

化粧は薄めに、 マニキュアにも注意

顔色や爪の色などから発見できる病気もあるので、化粧はしないか、してもできるだけ薄めにしましょう。マニキュアは塗らないで行く方がよいでしょう。

衣服は着脱しやすいものを

検査当日は着脱しやすいものにしましょう。検査着に着替える場合もありますが、私服のまま採血や血圧測定をすることを考えると、袖をまくっても、締め付けないものがよいでしょう。

服用中の薬がある場合

服用中の薬については、原則、服用しなければいけないもの以外は控えた方がよいでしょう。栄養を補うために飲んでいるビタミン剤や時間をずらしても差し支えない薬などは、検査が終わってから飲むようにしましょう。

月経中は避けるようにする

月経中は尿検査など正しく判定できない検査もあるので、避けるように勤めることが多いようです。急に月経が始まってしまった場合などは、早めに健診機関に連絡して、月経中でも受けることは可能か、日程変更ができるかなどを確認しましょう。

妊娠中はできない検査がある

胸部X線、上部消化管X線(バリウム)、マンモグラフィ、上部消化管内視鏡(胃カメラ)、下部消化管内視鏡(大腸内視鏡)、脳ドック(頭部MRI・MRA、頸動脈MRA)、胸部CTは受けられません。子宮頸がん検診(細胞診)は、かかりつけ医と検診での検査の必要性についてよくご相談ください。

性行為について 注意事項があることも

婦人科検診などを受ける場合、原則として、前日・当日の検査後は性行為を避けるように指示されることが多いようです。前日に膈内洗浄をすると細胞が洗い流されて検査に差し支えることもあります。

